

## 第10回 甲状腺検査専門委員会診断基準等検討部会 次第

日時：平成26年12月6日（土）13：00～16：00

場所：コンベンションルーム AP東京丸の内 H+I室

### 1 開 会

### 2 挨 拶

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター  
副センター長 山下俊一

### 3 議 事

#### 【報 告】

- (1) 第9回 甲状腺検査専門委員会 診断基準等検討部会 概要記録
- (2) 第16回検討委員会（H26.8.24開催）にかかる甲状腺検査部門資料
- (3) 病理診断コンセンサス会議の報告
- (4) 県内・県外検査機関一覧表
- (5) 県外出張検査（山形県（米沢市・山形市））実施結果

#### 【協 議】

- (1) 第17回検討委員会（H26.12.25開催）にかかる甲状腺検査部門資料（案）について
- (2) 「県民健康調査」検討委員会 第4回「甲状腺検査評価部会」（H26.11.11開催）資料について
  - (2-1) 手術の適応症例について（医大提出資料）
  - (2-2) 福島県における甲状腺がんの有病者数の推計（津金委員提出資料）
- (3) 二次検査におけるLBC（液状化検体細胞診）の併用について
- (4) 二次検査におけるCEA、カルシトニン測定の実施について
- (5) 遺伝子検査結果について
- (6) 手術症例について
- (7) 細胞診について
- (8) その他の画像

### 4 その他

### 5 閉 会

## 配布資料

- 第10回 甲状腺検査専門委員会 診断基準等検討部会 次第
- 第10回 甲状腺検査専門委員会 診断基準等検討部会 名簿
- 第10回 甲状腺検査専門委員会 診断基準等検討部会 座席表

### 【報告】

- 報告1 第9回 甲状腺検査専門委員会診断基準等検討部会 概要記録
- 報告2 第16回検討委員会（甲状腺検査部門）資料
- 報告3 第5回病理診断コンセンサス会議概要記録
- 報告4 県内・県外検査機関一覧表
- 報告5 県外出張検査（山形県（米沢市、山形市））

### 【協議】

- 議題1 第17回検討委員会（甲状腺検査部門）資料（案）
- 議題2 「県民健康管理調査」検討委員会 第4回「甲状腺検査評価部会」資料
  - 2-1 手術の適応症例について（医大提出資料）
  - 2-2 福島県における甲状腺がん有病者数の推計（津金委員提出資料）
- 議題5 遺伝子検査結果について

### 【その他】

# 第10回 甲状腺検査専門委員会診断基準等検討部会 名簿

【委員】

	所属機関	職	氏名	出欠
1				○
2				○
3				×
4				×
5				×
6				○
7				○
8				×
9				×
10				○
11				○
12				○
13				○
14				○
15				○
16				×
17				×
18				○
19				○
20				×
21				○

※50音順にて作成（敬称略）

【協力委員】

	所属機関	職	氏名	出欠
1				×

(敬称略)

【福島県立医科大学 関係教職員】

	所属機関	職	氏名	出欠
1	福島県立医科大学	国立大学法人長崎大学理事 福島県立医科大学副学長 放射線医学健康管理センター副センター長	山下 俊一	○
2	福島県立医科大学	甲状腺内分泌学講座 主任教授 放射線医学県民健康管理センター 甲状腺部門 部門長	鈴木 真一	○
3	福島県立医科大学	甲状腺内分泌学講座 教授 放射線医学県民健康管理センター 甲状腺部門 甲状腺検査推進室 室長	鈴木 悟	○
4	福島県立医科大学	臨床検査医学講座 主任教授 放射線医学県民健康管理センター 甲状腺部門 甲状腺検査推進室 副室長	志村 浩己	○
5	福島県立医科大学	甲状腺内分泌学講座 准教授 放射線医学県民健康管理センター 甲状腺部門 甲状腺検査推進室 副室長	福島 俊彦	×
6	福島県立医科大学	放射線健康管理学講座 准教授 放射線医学県民健康管理センター 甲状腺部門 甲状腺検査推進室 副室長	緑川 早苗	○
7	福島県立医科大学	放射線医学県民健康管理センター 甲状腺部門 甲状腺検査推進室 副室長	八木 亜紀子	×
8	福島県立医科大学	放射線健康管理学講座 主任教授	大津留 晶	○
9	福島県立医科大学	病理病態診断学講座 主任教授	橋本 優子	×
10	福島県立医科大学	放射線医学県民健康管理センター 広報部門 部門長 特命教授	松井 史郎	○
11	福島県立医科大学	放射線医学県民健康管理センター 広報部門 室長 特命教授	田中 成省	○
12	福島県立医科大学	病理病態診断学講座 准教授	田崎 和洋	×
13	福島県立医科大学	放射線医学県民健康管理センター 広報推進室 主査	日野 優子	○

(敬称略)

【福島県立医科大学 関係事務職員】

	所属機関	職	氏名	出欠
1	福島県立医科大学	放射線医学県民健康管理センター 甲状腺検査室 室長	黒澤 涼一	○
2	福島県立医科大学	放射線医学県民健康管理センター 甲状腺検査室 副室長	高島 光二	○
3	福島県立医科大学	放射線医学県民健康管理センター 甲状腺検査室 主任医療技師	逸見 正彦	○
4	福島県立医科大学	放射線医学県民健康管理センター 甲状腺検査室 医療技師	坂上 敏江	○
5	福島県立医科大学	放射線医学県民健康管理センター 甲状腺検査室 主事	坂本 亮	○

AP東京丸の内 H+I 室

スクリーン

プロジェクター

福島県立医科大学  
山下 俊一

福島県立医科大学  
鈴木 真一

福島県立医科大学  
鈴木 悟

福島県立医科大学  
志村 浩己

福島県立医科大学  
大津留 晶

出入口

出入口

事務局席

日野 優子  
福島県立医科大学

緑川 早苗  
福島県立医科大学

田中 成省  
福島県立医科大学

松井 史郎  
福島県立医科大学

## 第 9 回甲状腺検査専門委員会診断基準等検討部会 概要記録

日時：平成 26 年 8 月 3 日（火）13：00～16：00

場所：コンベンションルーム AP東京駅八重洲通り 13階 A室

## 【出席者】

## [委員]

## [協力委員]

[福島県立医科大学関係委員] 山下副センター長、鈴木（眞）部門長、鈴木（悟）室長、福島副室長、緑川副室長、大津留教授、松井（史）特命教授、橋本主任教授、日野主査  
[事務局] 黒澤室長、高島副室長、逸見主任医療技師、阿部医療技師、坂本主事  
[記録作成] 逸見主任医療技師、阿部医療技師、坂本主事

## 1 報 告

- (1) 第 8 回甲状腺検査専門委員会診断基準等検討部会 概要記録  
委員より前回会議の概要記録について報告。
- (2) 第 15 回検討委員会（H26.5.19 開催）にかかる甲状腺検査部門資料  
委員より第 15 回検討委員会資料について報告。
- (3) 病理診断コンセンサス会議の報告  
委員より、第 4 回までのコンセンサス会議概要について報告。
- (4) 県内・県外検査機関一覧表  
事務局より 7 月 31 日現在の県内・県外検査拠点について説明。
- (5) 県外出張検査（新潟県（柏崎市・新潟市））  
委員より県外出張検査（新潟県（柏崎市・新潟市））について報告。

## 2 協 議

- (1) 第 16 回検討委員会（H26.8.24 開催）にかかる甲状腺検査部門資料（案）について  
委員より第 16 回検討委員会資料案について説明。
- (2) 甲状腺癌症例について  
委員より、悪性ないし悪性疑い症例のうち福島医大で手術を実施した 5 4 症例について説明。

## 【意見等】

- ・手術症例については、リンパ節転移や反回神経近傍などの理由で手術適用としており、手術適用理由としては妥当との意見があった。

(3) 甲状腺結節・甲状腺癌の地域差について

委員より、先行検査における甲状腺がんの発生頻度などの地域差についての分析結果(速報)を説明。速報値では、会津地域でB、C判定率が多く、悪性疑いの頻度は地域差が見られなかった。

分析結果については精査して、第16回検討委員会へ報告予定。

(4) 細胞診施行率について

委員より、甲状腺検査(二次検査)における細胞診施行率について説明。

【意見等】

- ・過剰診療とよくいわれるのは被胞型乳頭癌だが、手術症例の中には被胞型がないことから、過剰診療ではないといえるのではないか。
- ・細胞診の施行率について、年度毎に低くなってきているが、これは一定の診断基準のもと、過剰診断にならないように常に診断の質の向上を図った結果と考えられる。

3 その他

特になし。

## 第 5 回病理診断コンセンサス会議 概要記録

日時：平成 26 年 10 月 27 日（月）9：00～12：00

場所：福島県立医科大学附属病院

2 階病理部 検鏡室

### 【出席者】

[委員] ██████████ 橋本主任教授、田崎准教授  
[オブザーバー] 鈴木真一 部門長、志村副室長、大津留晶教授、福島副室長  
[事務局] 高島副室長、逸見主任医療技師、佐藤ゆかり主任医療技師、氏家医療技師、坂本主事  
(記録作成) 逸見主任医療技師、坂本主事

### 【議 題】

(1) 議事録について

(2) 症例検討

議題 (1)、(2) について検討を行った。

以下、概要。

(1) 議事録について

- ・ 前回までの議事録の再確認を行った。

(2) 症例検討



- ・ 次回の開催は、12 月 6 日（土）東京で開催の予定。



# 報告4

## 県内検査実施機関一覧

平成26年11月30日現在

所在地		医療機関名	一次検査開始 又は予約確定	二次検査開始 又は予約確定
県北	福島市	あづま脳神経外科病院	○	
		大原総合病院		
		済生会福島総合病院	○	
	伊達市	中野病院	○	
県中	郡山市	星総合病院		○
		菊池医院	○	
		郡山市健康振興財団	○	
会津	会津若松市	会津中央病院	○	○
いわき	いわき市	福島労災病院		○
		松村総合病院	○	
		ふじい医院	○	
		呉羽総合病院		
計		12医療機関		

報告4

県外検査実施機関一覧

※ 前回から新しく協定締結した機関及び二次検査を開始（予約確定）した機関には☆を付けています。

平成26年11月30日現在

所在地		医療機関名	H25及びH26年度協定締結機関	二次検査開始又は予約確定	所在地	医療機関名	H25及びH26年度協定締結機関	二次検査開始又は予約確定
北海道	札幌市	上條甲状腺クリニック			石川県	内灘町	金沢医科大学病院	
		北海道大学病院			福井県	福井市	福井県立病院	○
	函館市	さっぽろ糖尿病・甲状腺クリニック	○	☆	山梨県	中央市	山梨大学医学部附属病院	
青森県	弘前市	函館五稜郭病院	○		長野県	松本市	相澤病院	
岩手県	盛岡市	栗原クリニック				飯田市	飯田市立病院	
		岩手県立中央病院	○	○	岐阜県	多治見市	岐阜県立多治見病院	
		たにむらクリニック	○		静岡県	静岡市	桜ヶ丘病院	○
宮城県	仙台市	森洋子クリニック			浜松市	浜松医科大学医学部附属病院	☆	
秋田県	秋田市	東北大学病院		○	愛知県	名古屋市	名古屋大学医学部附属病院	○
		秋田大学医学部附属病院				豊川市	豊川市民病院	
山形県	山形市	山形大学医学部附属病院				長久手市	愛知医科大学病院	○
		山形市立病院済生館	○		三重県	松阪市	松阪中央総合病院	
	酒田市	日本海総合病院	○		滋賀県	大津市	滋賀医科大学医学部附属病院	
茨城県	水戸市	水府病院			京都府	京都市	京都医療センター	☆
	つくば市	筑波大学附属病院				京都府立医科大学附属病院		
	日立市	日立総合病院	○			洛和会音羽病院	☆	
	鹿嶋市	小山記念病院	○	☆	大阪府	大阪市	すみれ病院	
栃木県	宇都宮市	栃木県立がんセンター				大阪市立大学医学部附属病院	☆	
	佐野市	佐野厚生総合病院				吹田市	大阪大学医学部附属病院	○
	日光市	獨協医科大学日光医療センター				泉佐野市	りんくう総合医療センター	
	下野市	自治医科大学附属病院		☆		高槻市	高松内科クリニック	○
	壬生町	獨協医科大学病院		○	堺市	市立堺病院	○	
群馬県	前橋市	群馬大学医学部附属病院		○	兵庫県	神戸市	隈病院	○
埼玉県	狭山市	埼玉石心会病院 (さやま総合クリニック)			奈良県	生駒市	近畿大学医学部奈良病院	
千葉県	千葉市	千葉大学医学部附属病院			和歌山県	和歌山市	和歌山県立医科大学附属病院	
	市原市	帝京大学ちば総合医療センター			鳥取県	米子市	鳥取大学医学部附属病院	
	柏市	国立がん研究センター東病院	○		島根県	出雲市	島根大学医学部附属病院	
東京都	港区	東京慈恵会医科大学附属病院			岡山県	岡山市	岡山大学病院	
		虎の門病院		○		倉敷市	川崎医科大学附属病院	
	文京区	日本医科大学付属病院		○	広島県	広島市	土谷総合病院	
	太田区	東邦大学医療センター大森病院		○	山口県	宇部市	山口大学医学部附属病院	○
	世田谷区	国立成育医療研究センター			徳島県	徳島市	徳島市民病院	
	渋谷区	伊藤病院			香川県	高松市	高松赤十字病院	
		ケイエスクリニック	☆		愛媛県	東温市	愛媛大学医学部附属病院	
	豊島区	池袋病院			高知県	南国市	高知大学医学部附属病院	☆
		アーバンハイッククリニック			福岡県	福岡市	やましたクリニック	
		南池袋パークサイドクリニック	○			久留米市	久留米大学病院	
	北区	金地病院		○	佐賀県	佐賀市	小池病院	
小平市	公立昭和病院		○	長崎県	長崎市	長崎大学病院		
神奈川県	横浜市	横浜市立大学附属市民総合医療センター				大村市	長崎医療センター	
	相模原市	昭和大学藤が丘病院	○	○	熊本県	熊本市	田尻クリニック	
	川崎市	川崎幸クリニック	○		大分県	別府市	野口病院	○
新潟県	新潟市	新潟大学医歯学総合病院			宮崎県	宮崎市	宮崎大学医学部附属病院	
富山県	上市町	かみいち総合病院			鹿児島県	鹿児島市	鹿児島大学病院	
					沖縄県	浦添市	浦添総合病院	

計 92医療機関

# 甲状腺検査（山形県米沢市・山形市）実施結果

報告5

## ◆ 出張検査実施報告

現在、山形県内では3検査機関において甲状腺検査を実施しているが、希望者が多くいるため、今回、山形県内に居住している対象者等に対して2日間（2市）にわたり、本学から現地に出張し、甲状腺検査を実施した。

実施に際しては、対象者に出張検査のお知らせを送付し、下記検査実施日に検査を希望するかを確認を行い、検査希望者について検査を実施した。

また、今回の検査は2日とも健診車両（2台）を利用し、3ブースで検査を行った。

なお、今回は基本調査・線量評価部門の「基本調査問診票書き方相談コーナー設置」に加えて、広報推進室においても県外で初めて「甲状腺検査説明会（各日2回）」を実施した。

## ◆ 検査実施場所

(1) 平成26年10月11日（土）すこやかセンター（米沢市）

(2) 平成26年10月12日（日）あこや会館（山形市）

## ◆ 検査実施結果（対象者1,080名、希望者212名、受診者214名）

**受診率101%（受診者／希望者）**

○ 平成26年10月11日（土）13時00分から17時00分

受診者：88名

○ 平成26年10月12日（日）10時00分から12時00分, 13時30分から15時30分

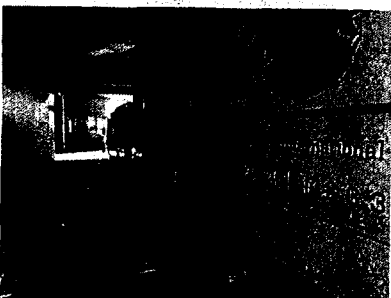
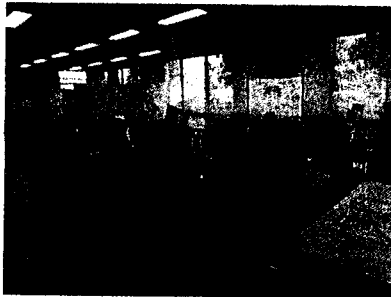
受診者：126名

○ 検査実施対応

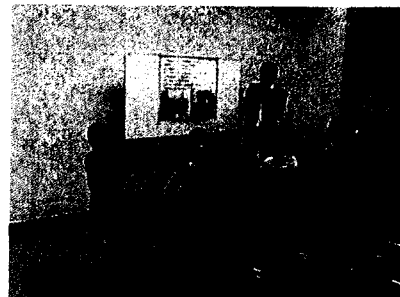
検者、介助、事務あわせて15名

○ 会場風景

（米沢市すこやかセンター）



（あこや会館）



## 県民健康調査「甲状腺検査（先行検査）」結果概要【暫定版】

## I 調査概要

## 1. 目的

チェルノブイリ原発事故後に明らかになった健康被害として、放射性ヨウ素の内部被ばくによる小児の甲状腺がんがある。

福島県では、東京電力福島第一原発事故を踏まえ、子どもたちの健康を長期に見守るために、甲状腺検査を実施している。

先行検査は、甲状腺の状態を把握するために実施した。

## 2. 対象者

平成 23 年 3 月 11 日時点で、概ね 0 歳から 18 歳（具体的には、平成 4 年 4 月 2 日から平成 23 年 4 月 1 日までに生まれた方）までの福島県民（県外避難者も含む）。※<sup>1</sup>

※<sup>1</sup> 市町村別対象者数は資料 1 のとおり。

## 3. 先行検査対象期間

一巡目の検査である先行検査の一次検査実施期間は、平成 23 年 10 月 9 日から平成 26 年 3 月 31 日までの予定であったが、未受診者の受診機会の確保を図るため、平成 26 年 4 月以降も本格検査（二巡目以降の検査）の案内通知が送付されるまでの期間を先行検査受診可能期間としている。そのため、本結果概要では、10 月 31 日までの集計結果としている。

また、一次検査の結果に基づき、二次検査も継続して実施する。

## 4. 実施機関

福島県から委託を受けた福島県立医科大学が、福島県内外の医療機関等と連携して実施した。

平成 24 年 11 月 1 日から県外の検査実施機関において、一次検査を実施しており、平成 26 年 10 月 31 日現在、全都道府県計 92 の検査実施機関と協定を締結している。

また、二次検査については、県内では平成 25 年 7 月から郡山市及びいわき市の 2 か所、平成 26 年 8 月からは会津若松市の 1 か所の検査実施機関において実施しており、県外でも平成 25 年 11 月から検査を開始し、平成 26 年 10 月 31 日現在、25 か所の検査実施機関において検査を実施している。

## 5. 検査方法

## (1) 一次検査

超音波画像診断装置により甲状腺の超音波検査を実施した。

なお、検査の結果は、以下の基準により複数の専門医により判定している。

(i) A 判定：A1、A2 判定の場合は次回（平成 26 年度以降）の検査まで経過観察としている。

(A1) 結節やのう胞を認めなかった場合。

(A2) 5.0 mm 以下の結節や 20.0 mm 以下ののう胞を認めた場合。

(ii) B 判定：B 判定の場合は二次検査を実施している。

5.1 mm 以上の結節や 20.1 mm 以上ののう胞を認めた場合。

なお、A2 の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した方については、B 判定としている。

(iii) C判定：C判定の場合は二次検査を実施している。

甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要する場合。

## (2) 二次検査

一次検査の結果、B判定またはC判定となった場合は、二次検査の対象となる。二次検査では、詳細な超音波検査、血液検査及び尿検査を行い、必要に応じて穿刺吸引細胞診を実施する。

## (3) 検査の流れ

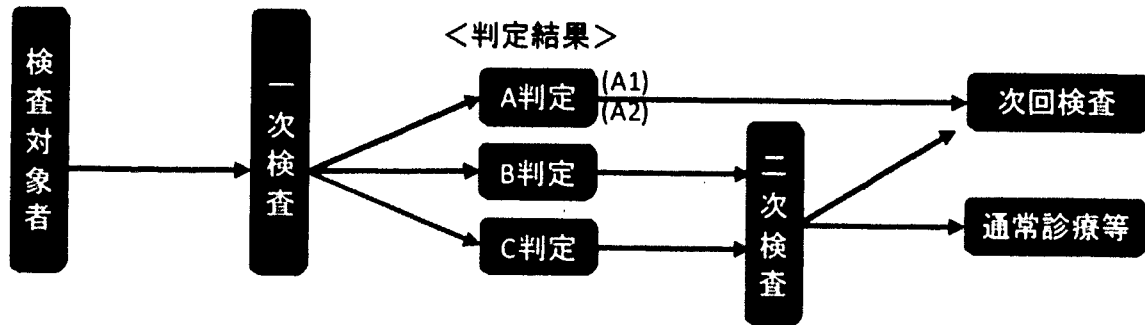


図 1. 検査の流れ

## 6. 実施対象年度別市町村

平成 23 年度、平成 24 年度及び平成 25 年度の各実施対象市町村は次のとおり。

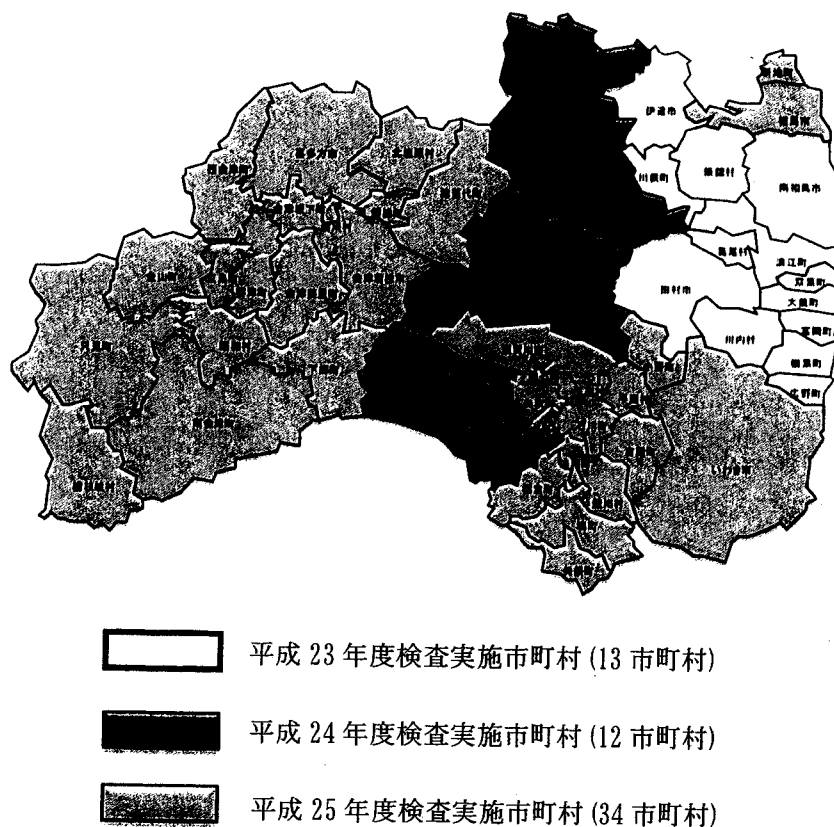


図 2. 実施対象年度別市町村

## II 調査結果概要（平成26年10月31日現在）

### 1. 一次検査及び二次検査結果

#### (1) 一次検査

対象者 367,686 人のうち平成26年10月31日現在、296,586 人が受診し受診率は 80.7% であった。※<sup>2,3</sup>

平成26年10月31日現在、296,253 人（受診者の 99.9%）の検査結果が確定し、結果通知を発送している。※<sup>4,5</sup>

検査結果は A 判定（表1の A1 及び A2 判定）の方が 294,012 人（99.2%）、B 判定の方が 2,240 人（0.8%）、C 判定の方が 1 人であった。

表1. 一次検査進捗状況

平成26年10月31日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		判定率 (%) ウ (ウ/イ)	結果判定数(人)				
		受診率 (%) イ (イ/ア)	うち県外 受診		判定区分別内訳(割合(%))				
					A		二次検査対象者		
					A1 エ (エ/ウ)	A2 オ (オ/ウ)	B カ (カ/ウ)	C キ (キ/ウ)	
平成23年度 実施対象市町村計	47,768	41,810 (87.5)	2,025	41,810 (100.0)	26,373 (63.1)	15,216 (36.4)	221 (0.5)	0 (0.0)	
平成24年度 実施対象市町村計	161,137	139,341 (86.5)	4,266	139,269 (99.9)	76,160 (54.7)	62,121 (44.6)	987 (0.7)	1 (0.0)	
平成25年度 実施対象市町村計	158,781	115,435 (72.7)	3,070	115,174 (99.8)	50,100 (43.5)	64,042 (55.6)	1,032 (0.9)	0 (0.0)	
合計	367,686	296,586 (80.7)	9,361	296,253 (99.9)	152,633 (51.5)	141,379 (47.7)	2,240 (0.8)	1 (0.0)	

表2. 結節・のう胞の人数・割合

平成26年10月31日現在

	結果確定数(人) ア	アに対する結節・のう胞の人数(割合(%))			
		結節		のう胞	
		5.1mm以上 イ (イ/ア)	5.0mm以下 ウ (ウ/ア)	20.1mm以上 エ (エ/ア)	20.0mm以下 オ (オ/ア)
平成23年度 実施対象市町村計	41,810	219 (0.5)	232 (0.6)	1 (0.0)	15,140 (36.2)
平成24年度 実施対象市町村計	139,269	973 (0.7)	730 (0.5)	9 (0.0)	62,234 (44.7)
平成25年度 実施対象市町村計	115,174	1,030 (0.9)	712 (0.6)	2 (0.0)	64,330 (55.9)
合計	296,253	2,222 (0.8)	1,674 (0.6)	12 (0.0)	141,704 (47.8)

※<sup>2</sup>市町村別受診状況は、資料2のとおり。

※<sup>3</sup>本県以外の都道府県別受診状況は、資料3のとおり。

※<sup>4</sup>市町村別結果状況は、資料4のとおり。

※<sup>5</sup>検査結果確定者の年齢と性別の分布等は資料5のとおり。

● 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。

(2) 二次検査

一次検査結果がB, C判定であった2,241人のうち、2,051人(91.5%)が二次検査を受診し、結果確定者は1,985人(96.8%)であった。※<sup>6</sup>

その1,985人のうち、673人(表3の次回検査A1の116人とA2の557人)(33.9%)は詳細な検査の結果A1もしくはA2判定相当として、次回検査(本格検査)となった。

一方、1,312人(66.1%)は、概ね6か月後または1年後に通常診療(保険診療)となる方等であった。この1,312人のうち、519人(39.6%)が穿刺吸引細胞診検査を受診している。

二次検査対象者については、サポートチームを立ち上げ、ご心配やご不安に対する、こころのケアサポートに努め、「WEB相談」による質問・相談を受け付けるなどの対応も行っている。

また、保険診療移行後の方についても同様の対応を継続している。

なお、平成25年12月5日以降、平成26年6月30日現在で、165人のサポートをしており、性別は男性38人、女性127人であった。この方々にのべ322回の相談対応等をしており、その内訳は初回検査が最も多く128回(39.8%)、穿刺吸引細胞診時37回(11.5%)、保険診療移行前のフォロー76回(23.6%)、インフォームド・コンセント時29回(9.0%)、保険診療移行後のフォロー(術前術後含む)37回(11.5%)、入院中4回(1.2%)、その他11回(3.4%)であった。

表3. 二次検査進捗状況

平成26年10月31日現在

	対象者数 (人)	受診者数(人) 受診率 (%)	確定率 (%)	結果確定数(人)			
				次回検査		通常診療等	
				A1	A2	カ(カ/ウ)	うち細胞診受診者 キ(キ/カ)
ア	イ(イ/ア)	ウ(ウ/イ)	エ(エ/ウ)	オ(オ/ウ)	カ(カ/ウ)	キ(キ/カ)	
平成23年度 実施対象市町村計	221	198 (89.6)	197 (99.5)	12 (6.1)	44 (22.3)	141 (71.6)	91 (64.5)
平成24年度 実施対象市町村計	988	917 (92.8)	892 (97.3)	53 (5.9)	245 (27.5)	594 (66.6)	261 (43.9)
平成25年度 実施対象市町村計	1,032	936 (90.7)	896 (95.7)	51 (5.7)	268 (29.9)	577 (64.4)	167 (28.9)
合計	2,241	2,051 (91.5)	1,985 (96.8)	116 (5.8)	557 (28.1)	1,312 (66.1)	519 (39.6)

※<sup>6</sup> 市町村別実施状況は資料6のとおり。

- 早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施。
- 次回検査は一次検査基準でA1、A2の範囲内であることが確認された方(甲状腺に疾病のある方を含む)。
- 通常診療等は概ね6か月後または1年後に経過観察(保険診療)する方及びA2基準値を超える等の方。